アレッサンドロ・ソルビアーティ先生 作曲・演奏ワークショップ



桐朋学園大学作曲部会は、本学特任教授、
杉山洋一先生の監修兼通訳により、イタリアの
著名な作曲家でローマのサンタ・チェチーリア国立
アカデミーの教授でもあるアレッサンドロ・ソルビアー
ティ先生による作曲のワークショップを開催いたします。

講師：アレッサンドロ・ソルビアーティ
通訳・指揮：杉山洋一

11月25日（水）
桐朋学園 宗次ホール

14:00～学生作品リハーサル
15:00～ソルビアーティ作品リハーサル
16:45～ 学生作品及び
ソルビアーティ作品演奏、
講評と質疑（17:30終演予定）

Alessandro Solbiati:
STILLE quattro pezzi per flauto, violino, viola e violoncello

演奏:
和泉澤宏明（fl.）、渡辺奏子（vn.）、
田中里奈（va.）、河田実聖（vc.）
杉山洋一（cond.）

桐朋関係者以外の方は、フォームよりお申し込みください。
https://forms.gle/cJRkiuZp6iuMsFKQ6

作曲レッスン（学内関係者のみ聴講可）

11月22日（日） 14:00～17:00
11月24日（火） 14:30～16:30

仙川S026室

受講生：M1和泉澤宏明、M1久保力輝、M1中野侃行、M1松本祐佳

主催：桐朋学園大学 作曲理論部会　問い合わせ：toho-comp@g.tohomusic.ac.jp

アレッサンドロ・ソルビアーティ　Alessandro Solbiati



1956年、ブスト・アルシーツィオ（ロンバルディア州）生まれ。ミラノ音楽院「ジュゼッペ・ヴェルディ」のサンドロ・ゴルリのもとで作曲を学び、ピアノと作曲で学位を取得。物理学部で２年間学んだ後、1977年から1980年までシエナ・キジャーナ音楽院のフランコ・ドナトーニに師事する。
1982年のRAI-パガニーニコンクールをはじめ、イタリア国内外で数多くの受賞歴があり、作品が定期的にヨーロッパの主要な音楽祭で演奏されている。ラジオでの放送に加え、ストラディバリウス、デッカ、エマ・ヴィンチ・レコーズ、BISレコーズ、タクトゥス等のレーベルで録音も行われている。
2009年には、トリエステのヴェルディ劇場において、プーシキンによる「小悲劇」より「ペスト蔓延下の宴」をもとにした自身初のオペラ作品『Il carro e i canti（馬車と歌）』を上演。続いて2011年にはトリノのレージョ劇場の委嘱で、ドストエフスキー「大審問官」をもとにした『Leggenda（伝説）』をジャナンドレア・ノセダ指揮で上演。カンディンスキーにインスパイアされた第3作『Il suono giallo（黄色の音）』は、2015年にボローニャ市立劇場でマルコ・アンジュスの指揮で上演され、これにより2016年にはイタリア音楽評論家協会よりアッビアーティ賞を授与された。
作曲や音楽芸術論に関する様々な著作があり、2002年には「Ah, lei fa il compositore? E che genere di musica scrive?（ああ、あなたは作曲家をしているのですか？それでどんなジャンルの音楽を作曲するんですか？）」を出版、2021年にはアンドレア・モナルダとの共著で「Nella mente del compositore（作曲家の頭のなか）」を出版。
1982年から1994年までボローニャ音楽院にて対位法と作曲を教え、1995年から2023年までミラノ音楽院で教鞭を執った。2023年11月からはローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーの専門課程において作曲を教える。また2007年からはセルモネータ城で行われるラティーナ国際音楽キャンパスの夏季コースにおいて作曲を担当し、2011年からはフランスのトゥール音楽院「フランシス・プーランク」で教えるほか、これまでに世界各地で数多くのマスタークラスを開催している。2013年からイタリア国営放送RAI 3において音楽レッスン番組に160回以上出演。
作品はミラノのEdizioni Suvini Zerboni社より出版されている。

杉山 洋一　Sugiyama Yoichi

1969 年東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業。指揮をエミリオ・ポマリコ、岡部守弘に、作曲を三善晃、フランコ・ドナトーニ、サンドロ・ゴルリに師事。
指揮者として NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ヴェローナ野外劇場管弦楽団など、日欧で活躍。作曲家としてミラノ・ムジカ、ヴェネツィア・ビエンナーレといった芸術祭をはじめ、国内外のアーティストから多くの委嘱を受けている。
2026年7月には、NHK交響楽団創立100年を記念する委嘱作品《夢へのきざはし》を世界初演した。
後進の指導や日本・イタリア両国間の文化交流にも熱心で、2024 年「イタリア同時代芸術を広める会」を発足以来、イタリア文化会館の協力を得て、イタリア人作曲家を招聘し、演奏会や若手音楽家に向けたワークショップを開催するなど尽力している。
第 68 回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第 74 回同大臣賞受賞。2010 年サンマリノ共和国聖アガタ騎士勲章受勲。作曲家として第 13 回佐治敬三賞、第 2 回一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。指揮者として第 22 回(齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。
1995 年よりミラノ在住。現在、ミラノ市立クラウディオ・アバド音楽院で教鞭を執る。桐朋学園大学特任教授。

